

検定の実施のご紹介

一般財団法人 最先端表現技術利用推進協会

2018年11月15日(木)

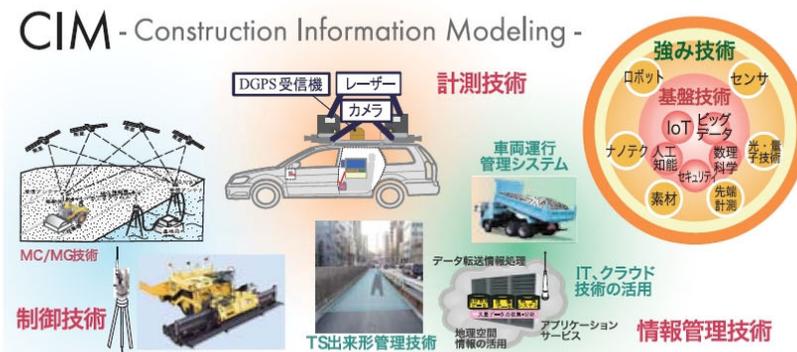


表現技術検定（建設ICT）初級編「建設ICT概論」

現場に密着したICTスキルの支援を目的とし、
調査・設計・施工から維持管理、災害対策までカバー。

表現技術検定（建設ICT）の達成指標

- 1 建設ICT概論を通して今後重要となる「労働生産性向上策」の提案・実現ができる
- 2 多様な事例を通して建設ICT利活用の具体的なポイントが体得できる
- 3 建設ICTの一般常識から専門的な方法論まで、建設プロセスを網羅した知識を習得
- 4 発注者/受注者など立場の違いを超えたコミュニケーションの基礎を習得できる



表現技術検定試験委員会委員

- ・ 朝日理登氏（中日本ロード・メンテナンス東京株式会社 代表取締役社長）
- ・ 杉浦伸哉氏（株式会社大林組 生産技術本部 先端技術企画部 技術第二課長）
- ・ 矢吹信喜氏（大阪大学大学院工学研究科 教授）



State of the Art Technologies in Expression Association

講習・検定内容

※講習受講、検定合格で検定証を授与します。

講習・試験監修 (試験委員)

朝日理登氏(中日本ロード・メンテナンス東京株式会社 代表取締役社長)

杉浦伸哉氏(株式会社大林組 生産技術本部 先端技術企画部 技術第二課長)

矢吹信喜氏(大阪大学大学院工学研究科 教授)

	時間	項目	表現技術として要求される事項等
ガイダンス	9:30～ 9:50	表技協事務局による説明	
講習1 基礎知識	9:50～10:50	(1)情報技術 (2)情報通信技術 (3)表現技術 (4)建設ICT	・情報技術とは ・情報通信技術の発展と展開 ・表現技術の変遷 ・建設ICT推進の背景
休憩	10:50～11:00		
講習2 超スマート社会	11:00～12:00	(1)スマートインフラ (2)スマートモビリティ (3)スマートものづくり	・スマートインフラに関する基本的知識 ・インフラアセットマネジメントの効率化 ・道路交通システムに関する知識・IoT ・ビッグデータ解析、数理科学、AI
昼食	12:00～13:00	※昼食は各自でご準備ください	
講習3 建設の情報化施工	13:00～14:30	(1)CIM (2)MC・MG (3)TS・GNSS (4)総合管理技術(GPS)	・CIMの本質 ・MC・MGの変遷と今後 ・建設ICTの本質とTS・GNSS ・クラウドと現場管理の連携 ・フロントローディングの本質 ・現場調査・安全・環境管理対策
休憩	14:30～14:40		
講習4 建設ICTに向けた・ 施工管理要領・ マニュアル・検査要領	14:40～15:30	(1)土工関係 (2)舗装関係 (3)施工管理一般 (4)検査要領	・TSを用いた出来形管理要領(土工編) ・TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領 ・TSを用いた出来形管理要領(舗装工事編) ・施工管理データを搭載したTS ・TSを用いた出来形管理の監督・検査要綱 (河川土工編/道路土工編/舗装工事編)
休憩	15:30～15:40		
演習	15:40～16:30	講習内容についての演習として検定を実施	



表現技術検定実施結果（実施日：2018年10月26日）

検定受験者	68名（受講者：77名）
平均点 / 満点	13.3 / 20点（最高20点 最低9点）
受験者平均年齢	43.2歳



講習、受験時の様子



2019年4月予定 表現技術検定第2弾 「表現技術検定（まちづくり）」

VR技術を活用したまちづくりを担う人材の育成を目的。

講習・試験監修：

福田 知弘 氏（大阪大学大学院 工学研究科 准教授）

家入 龍太 氏（建設ITジャーナリスト）

- 基礎編：

まちづくりに関係する行政担当者や住民などで、特にICTに対する関心がなくても、なんとなく知っているかもしれない用語を中心に話題と出題例を提供。

- ITCを活用したまちづくりファシリテーション：

まちづくり分野におけるファシリテーションの意義や心得を踏まえた上で、ファシリテーションにICTを活用する利点や留意点を紹介。

- 実践事例紹介：

まちづくり分野のファシリテーションにおいてVR等の利用推進が期待されるジャンルでの実践事例を紹介。



設立趣旨

本協会は、以下を支援することを目的に設立されます。

- 最先端表現技術の調査研究
- 最先端表現技術を活用したコンテンツ開発支援

本協会は、以下を通して社会へ貢献します。

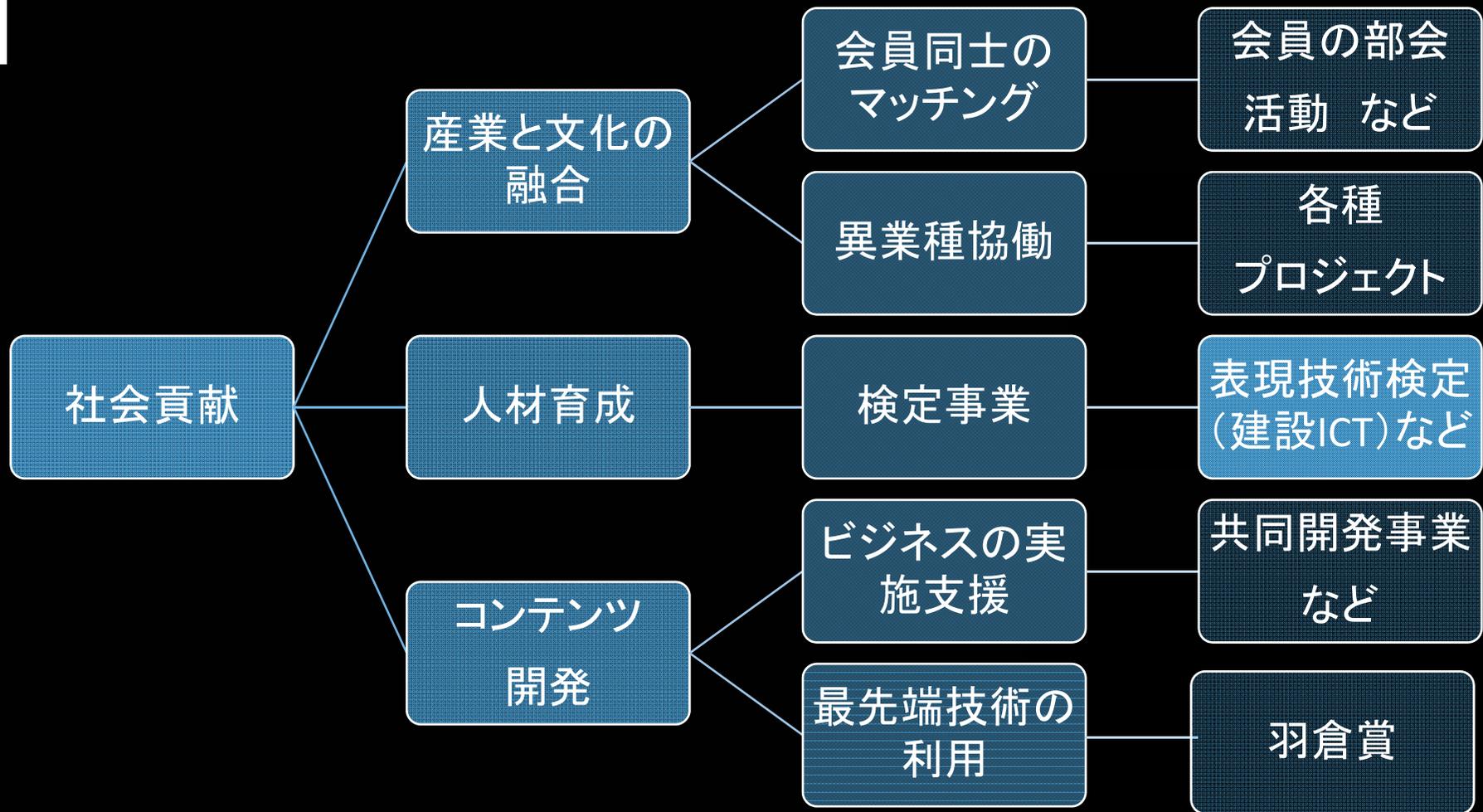
- 最先端表現技術の技術開発者の人材育成
- 最先端表現技術利用者(クリエイター等を含む)の人材育成
- そのほか新たな表現技術の活用を通じた社会貢献

本協会は、以下を通して産業と文化の融合を図ります。

- 最先端表現技術の活用に意欲のある会員同士のマッチング
- 最先端表現技術の活用に必要な分野を超えた企画提案



表技協の活動概要(抜粋)



協会情報

- 2014年12月設立
- 代表理事 伊藤裕二氏
株式会社フォーラムエイト代表取締役社長
- 会長 長谷川章氏(デジタルアーティスト)
2018年 8月1日着任
- 2018年11月1日現在
- 法人会員6社、個人会員75名



表技協の活動

システムの共同開発
PMテーブル

国際影響評価学会(IAIA)発表
← 茨(12/22) 12時

東京都円融寺
プロジェクションマッピング奉納

北上市 国体前夜祭
プロジェクションマッピング
協力

世界遺産五箇山
重要文化財「合掌造り(村上家)」
3DCGデータ作成

簡易立地診断ソフト開発
簡易立地診断マップ

デジタルサイネージによる災
害リスク認知効果の評価実験

山梨県北杜市太陽光発電所環境影響評価
VR データ作成

データ数: 10件
詳細情報: 表示

自主間易アクセス支援サイト NPO地づくり工房

NPO地づくり工房へは
自主間易アクセスとは

ようこそ! 自主間易アクセス支援サイ
トページ



表技協の紹介：入会のご案内

		法人会員(120,000円)	個人会員(6,000円)	情報会員(3,000円)
HP	会員リストにリンク掲載	○	○	-
	ニュースに情報掲載	○	○	-
メールニュース	会員メーリングリストへの登録	○	○	
	会員に対する情報告知	○	○	-
セミナー	聴講のみ	3人/年無料	1人/年無料	初回無料
	講演	3回/年	1回/年	-
コンサルティング	人材、機材のマッチング	○	○	-
	アドバイス	3回/年無料	1回/年無料	-
設備・機材	提供可能	○	○	-
	使用可能(会員価格)	○	○	-
部会活動への参加・立ち上げ提案		○	○	-

State of the Art Technologies in Expression Association

一般財団法人 最先端表現技術利用推進協会
State of the Technologies in Expression Association

TOP NEWS GALLERY CONTENT ABOUT

北海道Virtual Reality
(VR)推進協議会



入会案内

ニュースアーカイブ

部会レポート

プロジェクトレポート

セミナーレポート

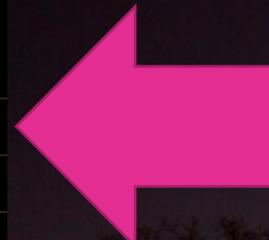
事業報告書

お問い合わせ

@soatassoc_orgさんのツイート

一般財団法人 最先端表現技術利用推進協会
@soatassoc_or

第2回羽倉賞募集に先立ち、羽倉賞受賞記念講演会&ネットワークパーティを開催いたします。昨年の羽倉賞受賞者をお招きしての講演会と楽しいパーティとなっております。どなたでもご参加可能なので皆様の奮ってのお申込みをお待ちしております。ご案内&申込は以下



GALLERY > 協会ギャラリー

円融寺除夜の鐘プロジェクト マッピング2016 東京・目黒



NEWS

2018/07/12 超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム (URCF) 総会・シンポジウムレポート

CONTENT > プロジェクトレポート